

保険者シート 記載要領

平成29年8月2日

大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会

【はじめに】

保険者シートは、介護保険の保険者が保有する既存の公表データを利用して、実施状況を簡易に表すものとして開発されたものです。

保険者がこのシートを数年作成することにより、時系列分析が可能となります。また他の保険者のシートと比較することにより地域間比較も可能となります。こうした分析が進むことにより、保険者の位置や進むべき方向がわかるものと期待されます。

現時点では、保険者シートは開発途上ですが、多くの保険者が活用し、その結果をホームページ等で公表することにより、保険者の介護保険運用状況を広く市民に知らせることができます。

多くの保険者でこの保険者シートが活用されることを期待します。

【保険者シートの基本コンセプト】

- (1) 「保険者シート」は、基本的に公表データから作成するものであること。
- (2) 保険者が保有する既存のデータを利用して、簡単に作成できること。
- (3) 時系列の分析が可能とすること。
- (4) 地域間比較が可能とすること。
- (5) 保険者の位置が分かること。
- (6) 保険者の進むべき方向が分かること。

【データ入力にあたって】

保険者シートは比較的簡易に作成することができます。方法は次のとおり。

- (1) 必要なデータを収集します。必要なデータは次ページの表のとおりです。
- (2) エクセルシートの「入力支援シート」に項目別にデータを入力します。
- (3) 保険者シートは、自動計算されて完成します。

【入力支援シート区分、データ入力項目等及び想定される担当者】

入力支援シート 区分	データ入力項目等	想定される担当者
入力支援シート 1	①団体コード ②市町村名 ③地域区分 ④年齢別人口	総括担当
	⑤要介護認定調査方法	要介護認定
	⑥主な地域支援事業等	地域支援事業
	⑦第1号被保険者数	資格管理
	⑧年齢補正後認定率	要介護認定
	⑨年齢補正後一人当たり給付月額	給付管理
	⑩介護給付費準備基金の状況	保険経理
	⑪市町村類型 ⑫日常生活圏域数 ⑬保険料の推移（事業計画） ⑭主要適正化5事業	総括担当
	⑮地域ケア会議の実施状況 ⑯主な総合事業の実施状況	地域支援事業
	⑰在宅医療の推進指標	総括担当
入力支援シート 2	⑱標準給付費（事業計画）	総括担当
	⑲所得段階別第1号被保険者数等 ⑳収納率	賦課徴収
	介護保険特別会計経理状況	保険経理
入力支援シート 3	介護保険給付費の決算額	保険経理
入力支援シート 4	要介護（要支援）認定者数 （介護保険事業状況報告）	要介護認定
入力支援シート 5	サービス受給者数 （介護保険事業状況報告）	給付管理

《共通事項》

入力支援シート1～5のオレンジ色のセルに記入すること。

《入力支援シート1》

① 団体コード

市町村決算カードに記載された団体コード（数字6桁）を記入すること。

※広域連合の場合は記載不要。

② 市町村名

市町村名を記入すること。

③ 地域区分

該当する級地（「1」～「7」、又は「その他」）を記入すること。

④ 人口（0歳～15歳未満・15歳～65歳未満・65歳以上・75歳以上）

平成28年3月31日時点におけるそれぞれの住民基本台帳人口を記入すること。

※便宜的に平成28年4月1日時点の人口でも差し支えない。

⑤ 要介護認定調査方法（新規、更新・区分変更）

当該市町村の在宅高齢者への認定調査方法について、実施の場合は「○」、未実施の場合は「-」を選択すること。

※遠方滞在者を除く。

⑥ 主な地域支援事業等

平成27年度に地域支援事業費で行った事業について、実施の場合は「○」、未実施の場合は「-」を選択すること。

※一般財源で行った事業については入力支援シート1の下欄「☆一般財源を活用した市町村独自の介護予防・生活支援サービス」の欄に記入すること。

- ⑦ 第1号被保険者数（65歳～75歳未満・75歳以上）
「介護保険事業状況報告」の平成28年3月月報様式1における「(1) 第1号被保険者数」の「当月末現在」の数値を記入すること。
- ⑧ 年齢補正後認定率
地域包括ケア「見える化」システム（以下、「見える化システム」という。）の指標No.「B5-a. 調整済み認定率（要介護度別）」から、当該市町村の平成26年度における要介護3～5までの調整済み認定率を記入すること。
※見える化システムのURLは以下のとおりです。
<http://mieruka.mhlw.go.jp/>
「ログイン」→「TOPページ」→「現状分析」→「指標一覧」→「索引別」→「B. 被保険者および認定者」→「B5-a」→「表形式」
- ⑨ 年齢補正後一人当たり給付月額
見える化システムの指標No.「D8. 調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）」から、当該市町村の平成26年度における調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額を記入すること。
※「ログイン」→「TOPページ」→「現状分析」→「指標一覧」→「索引別」→「D. 介護保険料サービスの利用状況」→「第1号被保険者1人当たり給付月額」→「サービス系列別」→「D8」→「表形式」
- ⑩ 介護給付費準備基金の状況（取崩額、積立額、残高）
平成27年度の介護給付費準備基金状況及び平成27年度末の残高を記入すること。
- ⑪ 市町村類型
市町村決算カードに記載された市町村類型を記入すること。
- ⑫ 日常生活圏域数
保険者が設定する日常生活圏域数を記入すること。
- ⑬ 保険料の推移（月額基準額）（平成12年度～平成37年度見込み）
年度別に介護保険料基準額を記入すること。ただし、平成32年度及び平成

37年度については介護保険事業計画（第6期）にて見込んだ基準額を記入すること。

※過去に市町村合併等が行われた保険者においては、合併時点における人口規模が最も大きい市の保険料月額基準額を入力すること。

⑭ 主要適正化5事業

平成27年度の実施状況について、実施の場合は「○」、未実施の場合は「-」を選択すること。

⑮ 地域ケア会議の実施状況

平成27年度の実施状況について、実施の場合は「○」、未実施の場合は「-」を選択すること。

⑯ 主な総合事業の実施状況

平成27年度の実施状況について、実施の場合は「○」、未実施の場合は「-」を選択すること。

⑰ 在宅医療の推進指標

厚生労働省ホームページの該当サイト

(<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>)

から「在宅医療にかかる地域別データ集」をダウンロードし、平成26年3月31日又は平成26年10月1日時点の数値を転記すること。

※ホーム>政策について>分野別の政策一覧>健康・医療>医療>在宅医療の推進について

☆ 一般財源を活用した市町村独自の介護予防・生活支援サービス

当該年度に一般財源で行った介護予防・生活支援サービスの実施状況を記入すること。

《入力支援シート2》

⑱ 標準給付費（第6期事業計画）

介護保険事業計画（第6期）にて見込んだ3年間の第1号被保険者の介護保険料必要額を記入すること。

※標準給付費及び地域支援事業費については、見込額を記入すること。（22%を乗じた第1号被保険者負担分相当額は保険者シート上で自動計算）

※介護給付費や予防給付費といった標準給付費見込額の内訳どおりに示せない場合は、直近の決算額ベースで按分すること。※「所得段階別加入割合補正後第1号被保険者数」には、介護保険事業計画（第6期）にて見込んだ平成27年度から平成29年度までの3年間の合計を記入すること。なお、「所得段階別加入割合補正後第1号被保険者数」とは、所得段階ごとの見込み被保険者数に保険料率を乗じて得た値である。

※「予定保険料収納率」には、介護保険事業計画（第6期）で見込んだ予定保険料収納率を記入すること。

⑲ 所得段階別第1号被保険者数等

平成27年度の財政調整交付金の「諸係数調べ」等において、4月1日（賦課期日）現在における標準9段階の場合の所得段階別第1号被保険者数を記入すること。多段階の設定をしている場合も標準9段階へ置き換えたものとする。

⑳ 収納率

「事務報告書」等から平成27年度の決算時点の数値で記入すること。

※過年度調定分を除く。

$$\text{収納率} = \frac{\text{収納額}}{\text{調定額}}$$

介護保険特別会計経理状況（保険事業勘定）

平成27年度の決算状況を記入すること。

《入力支援シート3》

平成27年度の介護給付費の決算額を記入すること。

《入力支援シート4》

「介護保険事業状況報告」の平成28年3月月報様式1の5における「(10) 要介護（要支援）認定者数（人）」の数値を記入すること。

《入力支援シート5》

「介護保険事業状況報告」の平成28年3月月報様式1の6における「(11) 居宅介護（介護予防）サービス受給者数（人）」、「(12) 地域密着型（介護予防）サービス受給者数（人）」及び「(13) 施設介護サービス受給者数（人）」の数値を記入すること。

※第2号被保険者を含む。

《自動算出されるもの》

- 高齢者一人当たり現役世代数〔平成28年3月31日時点〕

$$\text{高齢者一人当たり現役世代数} = \frac{\text{15歳以上65歳未満人口}}{\text{65歳以上人口}}$$

- 認定者のうち第2号被保険者数
入力支援シート4の第2号被保険者数合計数が転記される。

- 基本指数等（基本評価指標）
 - ・ 高齢化率〔平成28年3月31日時点〕

$$\text{高齢化率} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{総人口}}$$

- ・ 後期高齢化率〔平成28年3月31日時点〕

$$\text{後期高齢化率} = \frac{\text{75歳以上人口}}{\text{総人口}}$$

- ・ 認定率〔平成28年3月31日時点〕

$$\text{認定率} = \frac{\text{認定者数}}{\text{被保険者数（※2号含む）}}$$

- ・ 平均要介護度〔平成28年3月31日時点〕

$$\text{平均要介護度} = \frac{\text{要支援1認定者数} \times \text{仮数値} + \dots + \text{要介護5認定者数} \times \text{仮数値}}{\text{認定者数}} - 2$$

※要支援1～要介護5それぞれの「仮数値」は下記のとおり設定する。

要支援1 = 1、要支援2 = 2

要介護1 = 3、要介護2 = 4、

要介護3 = 5、要介護4 = 6、要介護5 = 7

- ・ サービス区分別給付費割合〔平成27年度決算時点〕

$$\text{サービス区分別給付費割合} = \frac{\text{各サービス給付費}}{\text{介護給付費合計}}$$

・ サービス区分別受給者数割合〔平成28年3月31日時点〕

$$\text{サービス区分別受給者数割合} = \frac{\text{各サービス受給者数}}{\text{受給者数合計}}$$

・ 受給者一人当たり給付費

$$\text{受給者一人当たり給付費} = \frac{\text{各サービス年間給付費}}{\text{各サービス3月分受給者数} \times 12\text{ヶ月}}$$

○ 要介護度別認定者数・認定率・受給者数

入力支援シート4・5の数値が転記される。

※認定者数及び受給者数は、第2号被保険者を含む。

$$\text{認定率} = \frac{\text{要介護度別認定者数}}{\text{要介護度別被保険者数 (※2号含む)}}$$

○ 保険料構造（月額換算相当）

保険料構造(月額換算相当)

$$= \frac{\text{第1号被保険者の保険料必要額}}{\text{予定収納率} \times \text{所得段階別加入割合補正後被保険者数} \times 12\text{ヶ月}}$$